

香川いのちのリレー財団だより

第20号

香川県高松市番町 4-1-10 (香川県医療政策課内)

tel 087-832-3315 fax 087-806-0248

ホームページ <https://www.inochi-relay-kagawa.jp/>

発行者：公益財団法人香川いのちのリレー財団

令和 7 年 10 月発行

20年のあゆみ



1人が救える最大の人数

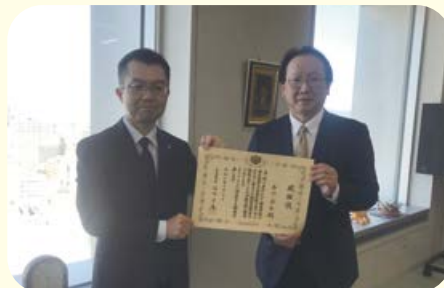
移植希望者約16,000人のうち、年間で移植を受けられるのはわずか4%。いま、この瞬間にも、多くの方が移植を待ち望んでいます。



グリーンリボンキャンペーンの天使
ハーティ

厚生労働大臣感謝状 贈呈式

令和 6 年 10 月、臓器移植対策の推進に顕著な功績のあった個人・団体に対して、移植医療対策推進功労者に対する厚生労働大臣感謝状贈呈式が執り行われました。所属の医療機関において、脳死下臓器提供の対応を不安視する医療従事者に対して、院内に則したフローチャートの作成や、研修会・シミュレーション等を通して院内周知の徹底を図り、院内体制整備に取り組んだ。また、他院においても、不安を抱える医療従事者に対して、アドバイスするとともに、臓器提供対応経験のある医療従事者を派遣する等、他院においても院内体制整備に対しても尽力された、高松赤十字病院副院長(兼)脳神経外科部長の香川昌弘先生に厚生労働大臣感謝状が贈呈されました。



ごあいさつ

公益財団法人香川いのちのリレー財団 理事長 長尾 英 司

臓器移植の推進につきまして、日頃から、当財団の事業活動に格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、臓器移植につきましては、昨年は全国における1年間の臓器提供が、脳死後130名、心停止後8名、あわせて138名の方からあり、臓器移植は583件行われました。県内においては、1名の方から臓器提供があり、3件の臓器移植が行われました。

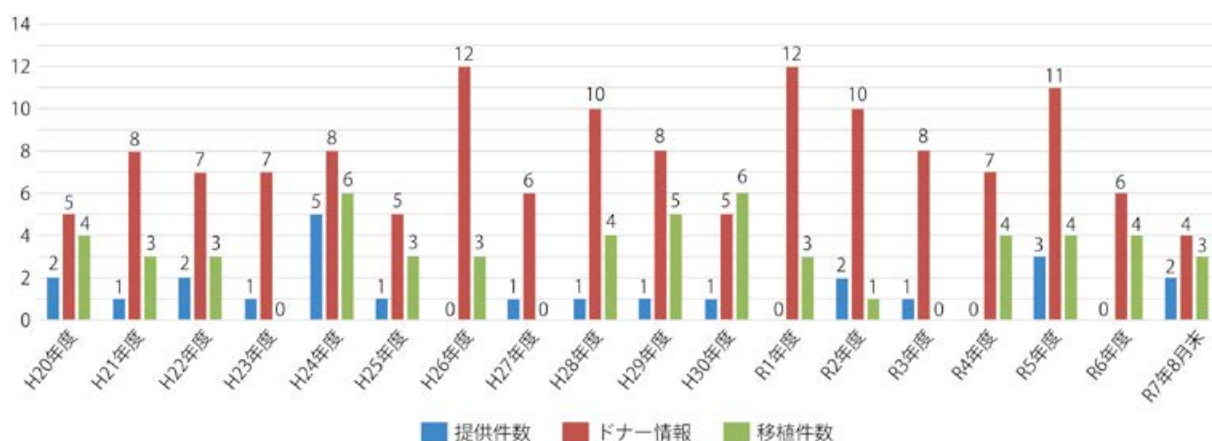


また、今年に入りましては、香川県立中央病院におきまして、脳死判定された男性から臓器提供が行われ、心臓は九州で20歳代男性に、肺は片方を京都で60歳代男性に、もう片方は東京で50歳代男性に、肝臓と片方の腎臓は広島で40歳代の女性に、もう片方の腎臓は高知で60歳代の男性の方に、それぞれ移植されました。

このような中、当財団といたしましては、臓器を提供する方や、そのご家族の善意が最大限に生かされるよう、引き続き、日本臓器移植ネットワークや県内の関係医療機関の皆様と連携いたしまして、移植体制の整備の推進や臓器移植に関する知識の普及啓発を、積極的に進めてまいります。

今後とも、医療機関や関係団体のご協力はもとより、県民の皆様の一層のご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

香川県における状況（提供および移植数、ドナー情報数）【H20年4月～R7年8月末現在】（臓器同時移植は2臓器）



臓器提供・移植医療への思い

香川大学医学部附属病院 救命救急センター長 河北 賢 哉



本年度より、香川大学医学部附属病院 臓器組織提供・移植医療支援室長および院内コーディネーターを拝命いたしました。私は2名のドナー主治医を経験しました。脳神経外科医として、救急医として全力で急性期の治療を行いましたが、救命することが叶いませんでした。お二人ともご家族が臓器提供に前向きであり、我々との話し合いの結果、臓器提供を選択されました。今思えば、最愛の家族が突然いなくなってしまう状況で、想像もできない悲しみ、苦しみ、迷いや葛藤を抱えながらの決断だったと思います。主治医として家族の決断をサポートするためにできることは、まず全力で治療をすること、その後、いかなる治療を行っても脳の回復が見込めないと判断すれば、それをはっきりと家族に伝えることが重要だと考えています。それによって家族も次のステップに進んでいけるのだと思います。

ご家族が、脳死判定承諾書および臓器摘出承諾書にサインをした後は、病院全体が一気に動きだします。主治医は其中で、臓器摘出対策本部会議の準備や会議への出席、ドナーの全身管理を行います。当時は救命救急センターのスタッフが全身管理のサポートをしてくれましたが、提供を決めてくれた臓器をダメにしてはいけないといったプレッシャーは相当大きかったと記憶しています。必死で管理したにも関わらず、臓器によっては三次評価で摘出できないと判断されると、無性に悔しい思いもしました。2回目の法的脳死判定終了後のご家族への死亡宣告は、まだ心臓が動いている状態であり、不思議な感覚でした。臓器摘出を受けるために手術室へ向かう患者さんを見送った時に、重圧から解放されると同時に、ご家族の悲しみを改めて目の当たりにすることになります。この時点までは、主治医として肉体的、精神的にかなり追いつめられる状態になりますが、無事に臓器摘出を終え、お見送りの際にご家族から我々スタッフへ感謝の声をかけていただいた時には、何とも言えない気持ちになります。それから数か月が経過し、レシピエントのサンクスレターを拝見することができます。これを読んだときに、私は気持ちが高揚します。一人の患者さんがこんなにも多くの命を救うことができるのか、これが移植医療なのか、と。私は臓器を提供する側の立場にいます。自分の患者さんを失うことはつらいことではありますが、今後も臓器提供に関わっていきたいと思っています。

臓器提供への思い



独立行政法人国立病院機構 四国こどもとおとなの医療センター 小児科 川本 昌平

小児の臓器提供について社会の認知は広がってきましたが、「わが子が提供する側になるかもしれない」ということまで考えているご家庭はほとんどありません。それは、子どもは本来死から遠い存在であることから当然とも言えます。小児医療の現場で臓器提供が話題にのぼるのは、突然の出来事で危篤となり、救命治療を出し切っても回復が見込めないと医学的に判断された後であり、通常、ご家族はその現実を受け止めることだけで精一杯です。これらのことから、小児の臓器提供のハードルは成人より高いというのが現場の実感です。

小児集中治療に関わる中で、私は臓器提供の場に複数回立ち会いました。予期せぬ別れに直面したご家族の悲嘆は計り知れません。しかし、臓器移植のケースでは、心臓が再び鼓動を刻んだ瞬間や、レシピエントから届く感謝の手紙（サンクスレター）に触れたとき、涙の中に笑顔が戻る場面が確かにあります。臓器が別の誰かの体内で機能を取り戻し、その人の生活を支えているという事実が、残されたご家族の一縷の希望となっていると毎回感じています。もちろん、臓器提供は正解でも強制されるものでもありません。どの選択にも等しく尊厳があります。

ここでひとつ、医療者側の課題について触れたいと思います。小児科医が臓器移植に直接携わる機会は多くありません。そのため、臓器提供という選択肢を提示することができずに最期を迎えることが多々あります。私も以前はそうでした。しかし前勤務先では可能な場合は必ず選択肢があることを伝えていました。すると想像以上に前向きに検討されるご家族がいることに気が付きました。その経験から、大切なのは主治医の特別な話術や施設設備ではなく、①質の高い終末期医療を整える（症状緩和・意思決定支援・心理社会的支援）②ご家族が思いをはせるための時間と環境を守る③提供が“可能な状況”ではその事実を過不足なく伝える・・・という、ごく基本的な姿勢を徹底するだけでも小児の臓器移植を拡げていくことができるのだと思います。

臓器移植は、レシピエントの命をつなぐ医療であると同時に、ドナー側の終末期医療のひとつのかたちでもあります。救命を尽くした“その先”で、ご家族の価値観に沿った選択が尊重されるように、院内コーディネーターとして、そして一医療者として、私はこれからも心に寄り添う現場づくりを続けていきたいと思っています。

香川県から院内コーディネーターを委嘱されました

(敬称略)



河北 賢哉
(香川大学医学部附属病院)



石橋 尚弥
(香川大学医学部附属病院)



岡本 哲也
(香川大学医学部附属病院)



滝井 瑞穂
(回生病院)



貞野 静香
(高松市立みんなの病院)



丸戸 広大
(三豊総合病院)



土居 大剛
(高松赤十字病院)



井上 一由
(香川県立中央病院)



山本 修
(香川県立中央病院)



宮川 公伸
(香川県立中央病院)



脇 彩矢花
(香川県立中央病院)



川本 昌平
(四国こどもとおとなの医療センター)



岡本 京子
(四国こどもとおとなの医療センター)



兒玉 真穂
(四国こどもとおとなの医療センター)



〈院内コーディネーター委嘱状交付式〉



香川県内の移植施設

病院名	担当科	医師	電話番号	診察日等注意事項
香川大学医学部附属病院 〒761-0793 木田郡三木町大字池戸1750-1	腎臓移植を希望される方		087-898-5111	火：午前 木：午後（新患対応） 金：午前 ※透析施設から地域連携室経由で 診察予約が可能です 地域連携室（Tel:087-891-2412）
	泌尿器・ 副腎・ 腎移植外科	杉元 幹史 上田 修史 田岡 利宜也		
	臓器移植を希望される方		087-898-5111	火：午前 木：午前 ※地域連携室経由で診察予約が可能です 地域連携室（Tel:087-891-2412）
	消化器外科	岡野 圭一 大島 稔		
高松赤十字病院 〒760-0017 高松市番町 4-1-3	腎不全外科	山中 正人	087-831-7101	月：13:00～15:00 火：13:00～15:00 木：13:00～15:00 ※地域連携室経由で診察予約が可能です 地域連携室（Tel:087-831-8131）

～こころ温まるご支援ありがとうございます～

令和6年度は法人会員24法人、個人会員9名の皆様にご支援をいただきました。

令和6年度 賛助会員名簿 (敬称略・五十音順)

〔法人会員〕

オーダー商事 有限会社
一般社団法人 香川県医師会
医療法人社団 海部医院
医療法人社団 健愛会 あきやまクリニック
医療法人社団 新進会 おさか脳神経外科病院
医療法人社団 ひかり 河内病院
医療法人社団 豊南会 香川井下病院
医療法人社団 秀聡会 こはし内科・腎クリニック
医療法人社団 山本ヒフ泌尿科医院
医療法人社団 湯浅クリニック
回生病院
香川県済生会病院
香川県腎臓病協議会
香川大学医学部附属病院
株式会社 香川銀行
株式会社 百十四銀行 県庁支店
高松市立みんなの病院
高松赤十字病院
高松東ライオンズクラブ
高松ライオンズクラブ
高松ロータリークラブ
三豊総合病院
横内内科医院

〔個人会員〕

青江 基
中原 薫
南原 義秋
吉本 具視
山本 洋之 ほか



賛助会員ご加入のお願い・ご案内

当財団では、臓器移植の普及推進を目的として、これまでに普及啓発グッズの作成・配布や、臓器移植に関する出前講座等の啓発活動、医療関係者の研修活動等、さまざまな活動を行ってまいりました。今後、さらなる普及推進を図るためには、知識の普及啓発等について一層の取り組みを行うことが重要ですが、これらの活動は当財団だけでなく、臓器移植に対するご関心及び移植医療の必要性へのご理解に支えられてこそ活動です。

今後さらに、臓器移植を待ち望む方々のために充実した活動を続けていく所存ですので、皆様のご協力をお願いいたします。

【賛助会員】

- 個人会員 年会費 1口 3,000円
- 法人会員 年会費 1口 10,000円

【振込先】

- 百十四銀行 県庁支店 普通 0930735
 - 香川銀行 県庁支店 普通 1011246
- (上記2行口座名義：公益財団法人香川いのちのリレー財団
理事長 長尾 英司)
- 郵便振替
- (所定の振込用紙がありますので、ご連絡ください)

当財団は、公益法人への移行に伴い、特定公益増進法人となり、当財団にお支払いいただく賛助会費は、税法上寄附金として扱われ、一定の要件のもとで税制上の優遇措置の対象となります。
くわしくは財団ホームページ『<https://www.inochi-relay-kagawa.jp>』をご覧ください。

令和6年度 事業報告

1 腎臓移植に関する助成

腎臓移植希望者の登録時の組織適合性検査料の助成として、18名に1人当たり20,000円を交付した。

2 臓器移植に関する関係機関との連絡調整

- (1) 協力施設の体制整備
医療機関が実施する院内研修会、院内マニュアルの作成等に対し、積極的な支援を行い、院内体制の整備を進めた。また、臓器移植クリップバインダーを作成し、関係医療機関へ配布した。
- (2) かがわよりよい臓器提供体制をみんなで構築する会議開催
臓器提供する患者家族はもちろんのこと、携わる医療従事者にとってもよりよい体制が構築できるよう名称も変更し体制を刷新した。当該会議を年に2回開催し、医療機関の双方向の連携強化を図った。また、例年、当財団が主催開催してきた終末期患者の思いにこたえるワークショップは、令和6年度より日本臓器移植ネットワークの連携事業の拠点施設となった香川大学医学部附属病院が主催開催し、当財団では引き続き、ワークショップ開催趣旨やプログラム、講師調整等の支援を行った。
- (3) 患者個票調査
7枚の患者個票を収集し、第2回かがわよりよい臓器提供体制をみんなで構築する会議においてデータの選択肢提示事例検討を行った。
- (4) 日本臓器移植ネットワーク主催の研修会等への参加
- (5) 臓器搬送に係る関係機関との連絡調整
県内の医療機関からの臓器搬送に備えて、時間的制約のある中においても安全で確実に搬送できるよう、関係機関と連絡調整を行い、県外への移植施設を想定し、県警航空隊と共に岡山大学病院のヘリポート視察を行った。

3 臓器移植に関する知識の普及啓発

- (1) 香川県臓器移植コーディネーター等による出前授業・講演の実施
県内の警察学校や高校、看護学校等において、臓器移植に関する知識の普及啓発に努めた。
- (2) 臓器移植普及推進イベント、キャンペーンの実施
臓器移植普及推進月間(10月)のグリーンライトアップ実施を中心に、じんけんフェスタ2024や高松赤十字病院 看護師さんのミニ講座等のイベントへ協力参加するなど、臓器移植に対する関心を持っていただき、意思表示欄の記入促進につながるよう、普及啓発に努めた。
- (3) 普及啓発物の配布
意思表示を普及啓発するウエットテッシュを1,000枚作成し、病院祭や病院主催の健康講和等で配布した。また、県内新成人、各種教育機関、香川県運転免許センター、県内自動車学校、コンビニ等に、意思表示説明用リーフレットや、小冊子「移植関係者の手記」等を配布した。
- (4) 広報活動
県庁舎内県民ギャラリーでのポスター・パネル展、RNCラジオ放送での高松赤十字病院『さわやかナースステーション』にて臓器移植の現状や臓器提供の意思表示の方法等、広報啓発を行った。
- (5) 第10回香川県臓器移植連絡協議会開催
関係機関の協力体制の構築を目的に、関係病院長や教育機関の関係者らによる連絡協議会を開催した。
- (6) 機関誌の発行
財団だより 第19号 300部発行

4 その他この法人の目的を達成するために必要な事業

臓器提供者の家族にお花を贈呈した。(1件)

令和7年度 事業計画

1 腎臓移植に関する助成

腎臓移植希望者の登録時の組織適合性検査費用の一部(1人20,000円)を助成する。

2 臓器移植に関する関係機関との連絡調整

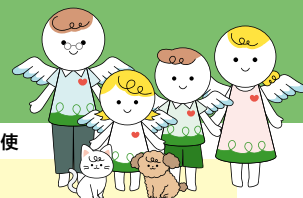
- (1) 院内体制整備
各医療機関内で、提供事例発生の際に院内コーディネーターが関係部署と円滑に連携が図れるよう、院内マニュアルの作成や改訂、シミュレーションや研修会の開催を支援し、より多くの医療関係者が臓器提供の意思確認を行い、ドナーや家族の意思が確実に尊重される体制の構築を行う。
- (2) かがわよりよい臓器提供体制をみんなで構築する会議の開催(年3回)
定期的な意見交換により、各医療機関での問題点等の共有及び連携を図る。(うち1回は実践的教育プログラムを兼ねて開催する。)
- (3) 患者個票調査
臓器提供施設からドナーとなりうる患者の医学的データの収集を行い、今後の症例発生時に適切な対応ができるよう、かがわよりよい臓器提供体制をみんなで構築する会議で事例検討を行う。
- (4) 臓器搬送訓練
県内の医療機関からの臓器搬送に備えて、関係機関と連携し、時間的制約のある中で、安全に確実に搬送できるよう搬送訓練を行う。

3 臓器移植に関する知識の普及啓発

- (1) 臓器移植普及推進月間(10月)
主要施設のグリーンライトアップを中心に、県広報誌やラジオ番組等による広報、電子看板での啓発映像の放映、関係団体と協力した臓器提供意思表示説明用リーフレット、パンフレット、ポスター等の配布を行う。
- (2) 臓器移植コーディネーターによる説明会等の実施
県民を対象に臓器移植コーディネーター等による説明会等を実施する。また、県内の高校、看護学校等の生徒、教員を対象とした出前授業を開催し、臓器移植に関する知識の普及啓発に努める。
- (3) 幅広い世代に向けた普及啓発
幅広い世代の方々に、臓器移植に対する関心を持っていただき、ご家族や大切な方と、いのちのことや臓器移植について話すきっかけ作りとなるよう、地域貢献に積極的な団体等と連携したイベント等を活用した継続的な啓発を行う。
- (4) 新規の免許取得者を対象とした普及啓発
これから免許証を取得する教習生に、運転免許証裏面で臓器提供の意思表示ができることを知っていただき、臓器移植の意思表示に対する関心を持っていただけるよう、県内各所の自動車学校に協力依頼し、ポスター、パンフレット、意思表示説明用リーフレット等の掲出、設置などを行い、運転免許証の裏面の意思表示欄の記入促進を継続的に行う。
- (5) 県庁舎での普及啓発
年間を通して、県庁舎内にて掲示物等を用いて、職員や来庁する県民に対して啓発活動に努める。
- (6) 香川県臓器移植連絡協議会の開催
県内の臓器移植関係者(移植施設、提供施設、民間団体、県臓器移植コーディネーター等)で構成する香川県臓器移植連絡協議会を開催し、院内体制整備の充実と臓器移植の普及啓発を推進するための協議を行う。
- (7) 機関誌の作成等
財団の機関誌を作成し、賛助会員、関係各所への配布、ホームページでの掲載を行う。

4 その他この法人の目的を達成するために必要な事業

臓器提供者の家族への供花等を行う。



グリーンリボンキャンペーンの天使
ハーティファミリー

GREEN LIGHT UP Project.

(グリーンリボンは移植医療のシンボルマーク)



今年も臓器移植普及推進月間である10月に、東京タワーをはじめ全国各地の著名なランドマークや建物が、移植医療のシンボルカラーであるグリーンにライトアップされます。香川県でも2か所(予定)をライトアップします。

この光には、ドナー(臓器提供者)への感謝に加え、移植を待つ人たち・移植を支える

医療者等へのエールの意味も込められています。グリーンにライトアップされた夜景を見ながら、ご家族や大切な方と、いのちのことや臓器移植について話してみてください。

点灯場所 ●高松シンボルタワー タワー棟
●四国電力本店・四国電力送配電本社屋上鉄塔



写真をお楽しみいただけます

ドナーアクションプログラムアワード表彰式

R6.9月に長崎県で行われた「日本移植学会総会」にて、当財団の香川県移植コーディネーターであります吉岡職員が表彰を受けました。

この表彰は、よりよい終末期医療を提供するために人的・構造的課題を抽出し改善へと導く方法論として開発された「ドナーアクションプログラム(DAP)」に積極的に取り組んだ方を表彰するもので、大変名誉であり誇らしい出来事でした。

引き続き、尽力してまいります。



(2024.9月 第60回日本移植学会)

じんけんフェスタ2025(予定)

今年も、ステージイベントにおいて県内在住の介護士兼シンガーソングライター かのめぐみさんに、臓器移植の現状を知って作詞・作曲された『サンクスレター』をはじめとする楽曲を披露していただきます。



日時 令和7年12月6日(土)
場所 高松丸亀町レッツホール

活動報告

県内の臓器移植医療体制の強化を図るため、「第2回かがわよりよい臓器提供体制をみんなで構築する会議」を令和7年2月に開催しました。

また、各医療機関が実施する院内研修会や院内マニュアルの作成等に対する支援を行い、院内体制の整備を進めたり、県内の医療機関からの臓器搬送に備えて、関係機関と連携し搬送訓練を行っています。

その他にも、幅広い世代の方々に臓器移植に関心を持っていただき、意思表示に対する関心を持っていただけるよう、様々な普及啓発活動を行ったり、院内体制整備の充実と臓器移植の普及啓発を推進するための協議を行う、香川県臓器移植連絡協議会を開催しています。



〈R7.2月 かがわよりよい臓器提供体制を構築する会議〉



〈R7.3.2 脳死判定シミュレーション〉

出前授業・講演のご案内

県内の教育機関や地域の会合、職場の研修などにおいて、臓器移植をテーマに、県臓器移植コーディネーターによる出前授業や講師をお招きしての講演等を行っています。

ご希望がございましたら、当財団までお気軽にご相談ください。



〈R7.4 高松赤十字病院新人看護師対象の研修会〉

臓器移植に関するお問い合わせをお受けします。



公益財団法人 香川いのちのリレー財団

☎ 087-832-3315 平日8:30~17:15

公益社団法人 日本臓器移植ネットワーク

☎ 0120-78-1069 平日9:00~17:30

臓器提供意思登録

モバイルサイトからも
意思登録できます。

登録はこちらから

